

令和7年度 函館市医療・介護連携多職種研修会「急変時対応研修会」
アンケート集計結果

n=62 (回収率 76.5 %)

当日参加人数 81名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	46	(74.2%)
・北斗市	15	(24.2%)
・七飯町	1	(1.6%)
計	62	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	11	(17.5%)
・介護機関	39	(61.9%)
・障がい福祉機関	8	(12.7%)
・その他	5	(7.9%)
計	63	(100.0%)

(複数回答含む)

3. 職種をお聞かせください。

・薬剤師	6	(9.5%)
・保健師	2	(3.2%)
・看護師	10	(15.9%)
・ケアマネジャー	17	(27.0%)
・生活相談員	4	(6.3%)
・医療相談員	2	(3.2%)
・介護職員	11	(17.5%)
・リハビリスタッフ	3	(4.8%)
・支援相談員	1	(1.6%)
・救急救命士	3	(4.8%)
・事務員	1	(1.6%)
・その他(サービス管理責任者、社会福祉士)	3	(4.8%)
計	63	(100.0%)

(複数回答含む)

4. 今回の研修内容はいかがでしたか？

・よかった	60	(96.8%)
・どちらともいえない	2	(3.2%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
計	62	(100.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・講師の皆さんの内容は、すべて勉強になりました。ありがとうございます。薬剤師なので急変時に出くわすことがないです。しかし、在宅で救急車を呼んだ経験がありますので、急変時対応シートを活かしたいと思います。
- ・急変時対応シートの必要性、救急隊が必要とする情報が分かりやすかった。小松さんの私見の話が面白く活用できそうだった(資料が無くて残念です)。
- ・医療・介護・救急の現場がよく分かった。

<看護師>

- ・救急搬送の判断は難しいと日々考えています。介護・看護での情報共有は改めて大変だと実感しました。入居者の日常の状態をしっかりと把握し、異変に早く気づけるよう関わりたいと思います。

<医療相談員>

- ・救急隊の方の私見などは実際に聞く機会がなかったため興味深く聞かせていただきました。
- ・それぞれの立場での身近な内容で大変参考になりました。

【介護機関】

<保健師>

- ・消防本部の小松様の話がとても参考になった。

<看護師>

- ・今後の活動に役立てていきたいと思います。
- ・ターミナル期の利用者様が多いので参考になった。
- ・グループホームでの事例が特に身に沁みました。現場での悩みを共有でき、今後の学習につなげることができるようにしたい。
- ・グループホームやわらぎの方の事例発表に学びがありました。マイナンバーカードで救急サマリー、診療・薬情報、特定検診の結果がわかるようになっていることを知りました。

<ケアマネジャー>

- ・それぞれの立場のお話を聞いてよかったです。
- ・それぞれの形態に沿った対応を行い、必要な情報ができれば良いと思います。
- ・説明がわかりやすい、救急車の現状が理解できた。
- ・ACPの研修会に参加してみたかったので、とても良い機会をあたえてくださりありがとうございました。
- ・数年前にも参加している内容(研修項目)なので、わかりやすいところと「？」というところがあった。急変時具体的な物があつたらよかった。
- ・定期訪問等の意識消失を発見したことがあり、今後も可能性があるので活かしたい。
- ・急変時の対応について勉強になりました。
- ・実際の体験を元にパネリストの方々の話を聞くことができたのでとても勉強になった。

<生活相談員>

- ・施設での対応なら良いと思いました。
- ・専門職の意見を長い時間、聞くことができて学びになりました。
- ・医療・介護・救急の実体験など聞くことができて良かったです。

<介護職員>

- ・今まで緊急時対応について深く考えたことがありませんでしたが、今回の研修を聞き、緊急時対応の重要性、自分の訪問介護で緊急事態が起きる可能性があるのだということを知られた。今後、今日学んだことを頭に入れ、少しでも緊急対応に活かしていきたいと思いました。
- ・急変時対応シートについて、訪問介護の現場でもとても参考になる資料です。事業所で毎月、全体ミーティングを行っていますので、使わせていただきたいと思います。
- ・いつもと様子が違う時は、あせらず1人で判断しないで職員や看護師に報告・相談し判断していきたいです。
- ・グループホーム第3やわらぎの事例がとても参考になりました。搬送時の伝えるポイントがわかりました。ありがとうございました。
- ・急変時の対応、事例等とてもためになる研修でした。現場に持ち帰り、現場で活かせるように周知したいです。情報共有、他職種連携がなりより大切と感じました。
- ・救急隊の日々の話を聞けてすごくためになりました。救急車を呼ぶ時、電話をしても良いかと迷うことが多かったため。

【障がい福祉機関】

<看護師>

- ・ 急変時対応シートというものを今まで知りませんでした。今後、必要な時、使用させていただきます。
- ・ 急変時対応シートを実際に使用してみようと思いました。支援者は急変時対応をしたことがない方が多いため、このシートなら何が重大な病気やケガなのか分かりやすいと思いました。
- ・ 介護現場での事例を使つての発表はわかりやすく勉強になりました。

<支援相談員>

- ・ 消防のお話がわかりやすかった。

<サービス管理責任者>

- ・ 障がい分野なので、終末期ではなく日常的なてんかん発作の対応などが知りたい。

【その他】

- ・ 施設で工夫している対応を知ることができた。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 今後も急変時対応研修会を続けていただきたいです。

<リハビリスタッフ>

- ・ ACPを用いた事例（良くも悪くも）があれば聞きたいです。

【介護機関】

<看護師>

- ・ 医師、看護師と連携を取りにくい施設向けの救急搬送、判断例やガイドラインの研修を希望します。
- ・ 事例内容の研修会を希望します。

<ケアマネジャー>

- ・ 事例（関りが難しい、医療拒否しているなど）が聞きたいです。
- ・ 独居、身元保証人が遠方にいる場合の救急搬送事例などの対応、救急搬送から入院、退院、施設など、その後までの検討会
- ・ 成年後見制度について
- ・ ACPの話をご家族様にするときに配慮すること等もう少し深い話を聞きたいです。
- ・ 家族間でケアに対する意向が相違している事例を取り上げた研修会
- ・ 具体的な医療連携ケース
- ・ 多職種連携や顔の見える研修会など

<生活相談員>

- ・ 通所介護の現場で、身寄りのない利用者様で認知症があり、判断力がない人で救急搬送が必要と思われる状況で乗車拒否してしまう方の搬送について、どう対応すべきか、実際に不搬送になったケースがあったため、何か対応できるよう準備できればと考えています。

<介護職員>

- ・ 在宅寄りの研修会があると助かります。今回はやや施設寄りだったかと思うので。
- ・ AED等、緊急時の対応
- ・ 高齢で入院の必要なし、病名も明らかにならない、でも体調不良が続く時の対応について

【障がい福祉機関】

<看護師>

- ・ 障がい者に焦点を合わせた障がい者・家族・施設(通所)相談支援事業所の医療連携についての研修会

<サービス管理責任者>

- ・ 初歩的ですが、支援の在り方、多職種連携の事例
- ・ 現場で行う理想的な救急対応時の研修のすすめ方

【その他】

<救急救命士>

- ・ 研修会を継続してください。

6. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

【介護機関】

<介護職員>

- ・ 私は在宅生活の支援をしていますが、独居の方の安心ボトルについて忘れられてきている傾向にあると思っています。独居の方でなくても65歳以上の方や障がいをお持ちの方などにも普及しても良いのではないでしょうか。
- ・ この時間帯だと参加しやすいので、今後もこの時間帯だとありがたいです。
- ・ 消防の要請時に伝えることの説明は、ありがたかったです。
- ・ ACPは今後どのように活用していったらいいのか？考えていきたいです。

【障がい福祉機関】

<サービス提供責任者>

- ・ 障がい分野も絡む研修会もお願いします。